

# インカム/音声入力 ICT導入

社会福祉法人悠久会 銀の星学園





# ICT導入まで

導入するなら今がタイミング



- ・ PC操作が苦手
- ・ 支援の時間を割く記録物の数

医務日誌、通院日誌、ケース記録、業務日誌、夜間の記録、行動支援手順書、リハビリ支援記録、個別支援記録と、紙ベースからの脱却を図る事と、様式のガラパゴス化を避け、法人内統一した記録を一本化した。

R4年度 国のIT導入補助金を活用して  
法人全体でNDソフトウェアのクラウド版  
記録・管理ソフトを導入した。

- ・ 利用者管理台帳
- ・ 支援記録
- ・ 国保連請求
- ・ 預り金管理 ができるソフトウェア





# 導入機器

ほのぼのmore導入に伴い・・・



それでも、「PC」入力は苦手・・・  
慣れるまで入力が難しい。。。  
結局、紙に書いた方が「早い」。

という声。。

結局記録する物は減るものの、内容自体を少なくすることは出来ない為、  
専門的な（医事的な）事はそれぞれ入力する事になる。。。

概ね、一日当たり3時間以上誰かがPCの前に座って本来の業務とは違う入  
力業務をすることになる。。。

得意な人はいいが、苦手な人は・・・

音声入力支援システム

**Voice fun**

開発元：株式会社アドバンス・メディア

キーボードの代わりに音声で入力できるシステムです。  
介護福祉業界に特化しているため、業界用語を優先して変換します。

声で書こう!



記録システム | 計画システム

ほのぼのmore対応  
音声入力支援システム

“Voice fun”

スマホやタブレット端末であれば、マイクボタンを押して話せば入力出来るがPCとなると、それが出来ない。  
そんな困りごとが、導入したほのぼのmoreに対応する音声入力支援システムで解決するようだ。

そして、カタログを見ているとまだほかにもICT機器が掲載されていた。

それが・・・ ほのぼのTark

新デジタルインカムのご提案

# ほのぼのTALK+

介護・福祉でのインカム活用を推進！

厚生労働省資料（令和2年6月25日） 社保第一介護給付費分科会より抜粋  
令和3年度介護報酬改定に向けて  
（介護人材の確保・介護現場の革新）資料より

介護現場革新の取組における機関間のイメージ ③機関間に関する地域医療介護総合確保基金による支援

④「地域のモデル施設の育成」に係る支援

【業務改善支援事業（人材分）】 **30万**

- 都道府県等が開催する「介護現場革新会議」において介護現場の生産性向上に必要と認められる取組に要する経費の補助
- ・ 介護現場革新会議の取組に伴う必要な経費
- ・ 介護事業所の取組に必要な経費（1/2補助（上限500万円））

例：業務コンサルタント等によるコンサル経費から介護ロボットやIoT（インカム等）の導入費用など

介護現場で「パイロット事業」の取組も実施

インカムの導入に補助！！

テクノロジーの活用支援

【介護ロボットの導入支援事業（人材分）】 **30万**

- ① 補助上限額：1 機器あたり上限30万円（1/2補助）  
※令和2年度補正予算で補助限度台数の増設等を実施。
- ② 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備に係る経費（Wi-Fi工事、インカム）の補助  
補助上限額：1 事業所あたり上限150万円（1/2補助）  
※令和2年度補正予算で上限750万円に引上げ。

介護現場の革新に向けて～令和2年度介護現場革新会議「パイロット事業」の取組～

③ インカムの活用

- 介護業務の負担軽減により、ケアの質的向上  
見守り時の時間が30%増加
- タブレット端末による記録業務  
記録時間の効率化（5分→4.2分）  
転記作業ゼロ

インカムの導入で業務効率化！

■インカムの導入でどんなメリットがあるの？

介護事業所のお困りごと

- ・誰がどこにいるか分からない…
- ・人を探すのが大変…
- ・距離が遠い人が呼び出しにくい…
- ・聴覚の悪い職員さんやブレスチャーの場で仕事をしている不安な状況…

これまでのインカムでは…

- 大きい音がする
- 意外と重い
- 接続する
- 専用端末
- 音声通話のみ

ほのぼのTALK+で解決！

iOS端末をインカムとして活用

話した会話がテキスト化され、聞き漏らしても大丈夫！ 履歴再生で聞き直しも可能です。

さらに！

ネックスピーカー型デバイスで、負担なく、介護現場をサポート！

活用しているお客様の声！  
ほのぼのTALK+で業務効率化



## ほのぼのTALKの導入まで

何処に誰がいるのか解らない

直ぐに伝えたいけどあとでもいいか…の、うっかり忘れ

大変！直ぐに誰か来て！

今直ぐに必要な物が有るけど、誰か持って来てほしい！

夜間帯の職員は1Fと2Fに一人ずつの配置な為、有事に備えたい

トランシーバー型は重い。音が悪い。

トランシーバー型はケーブルやアンテナが邪魔・・・

## ネック掛けインカムで解決



# 期待する導入効果

直ぐに分かった事について

# 共通する効果は「時短」⇔「余裕」

---

////////音声入力////////

- ・ 入力が早くなる
- ・ 苦手意識の克服
- ・ 別の作業が出来る

////////インカム・アプリ////////

- ・ どこに誰がいるのかが解る
  - ・ 夜間帯安心できる
- ・ 聞漏れなく、確認できる
- ・ 後日確認する事が可能



# 現場の声

「使えん！」を「おもしろい」へ

# Voice Fun

---

## ネガティブ意見

方言がうまく変換されない

医療機関等の名称が正しく変換されない

人がいるのに話すのが恥ずかしい

入力には自信があるから必要ない

## ポジティブ意見

標準語を使うようにすれば、言葉がきれいになる

独自の単語登録が便利

早口で話しても入力ができるので時短効果がある。

# ほのぼのTALK & ネットスピーカー

---

## ネガティブ意見

電源のへりが早い・・・

精密機器なので取り扱いを慎重にしなくてはならない。

スマホに表示されるメッセージが“変”

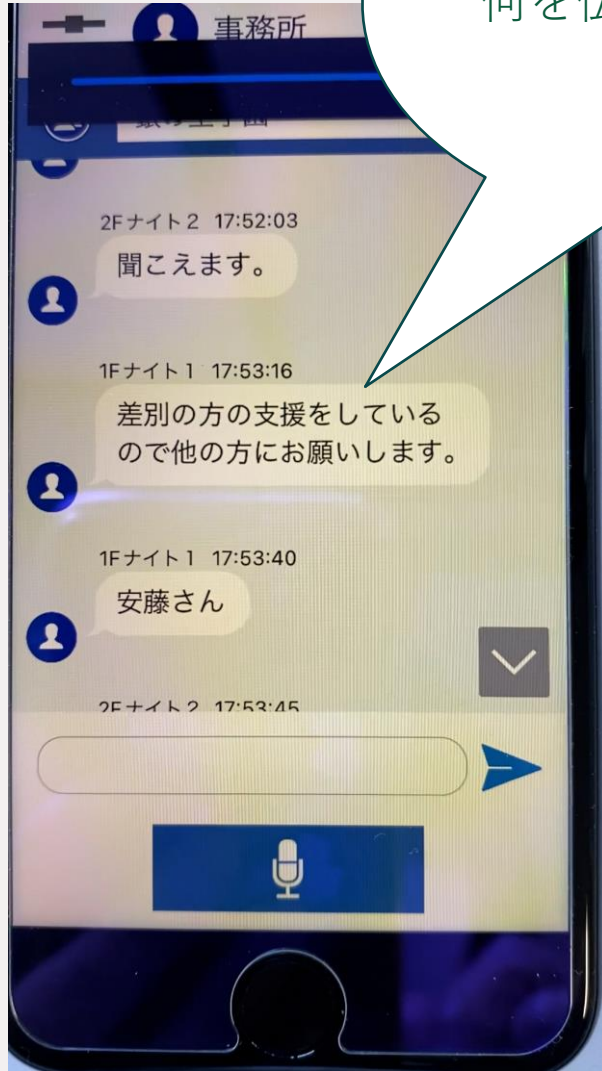
## ポジティブ意見

ハンズフリーで使用できるので、業務中便利！軽くて負担が少ない。あとで「再生できる」事はとても助かる。

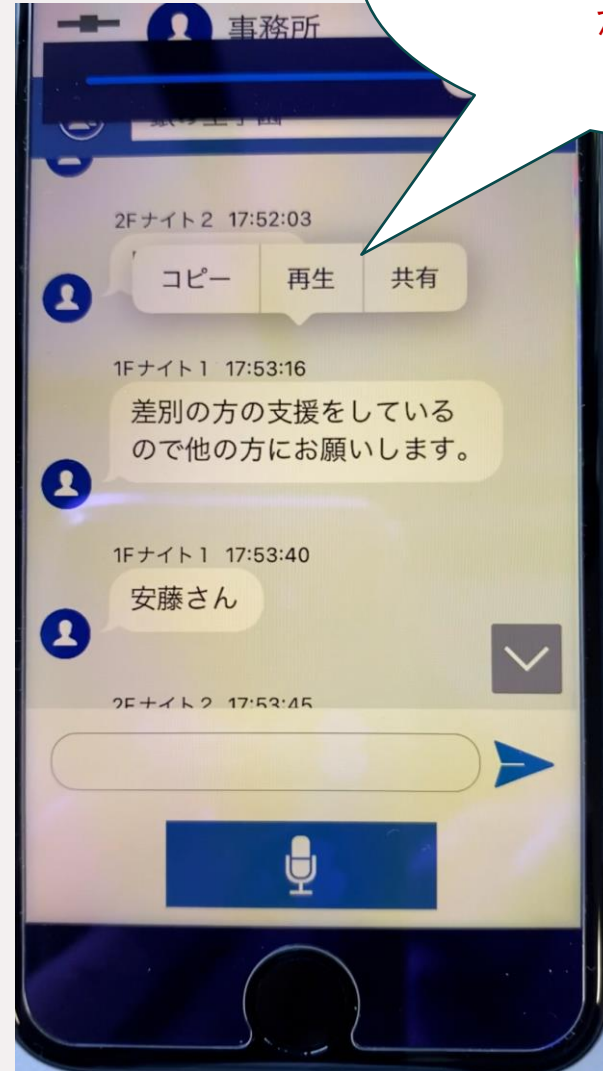
ちょっと言葉遣いが良くなったような気がする。

職員の所在が直ぐに分かる。

音声認識でご変換され、何を伝えたいのかが解らない??



長押し→再生で音声で聞き直すことが出来る。



# 導入後の課題

---

- ・ 誰でも使用できるように、もっと練習が必要。
- ・ ICTに苦手意識をもつ方にも気軽に使う為、職場内風土の醸成。
- ・ リーダーが積極的に使用し、職員の指導にあたる。